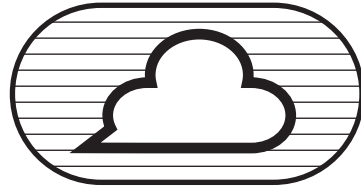


# 懸念される飼料用米シフト

米

粉



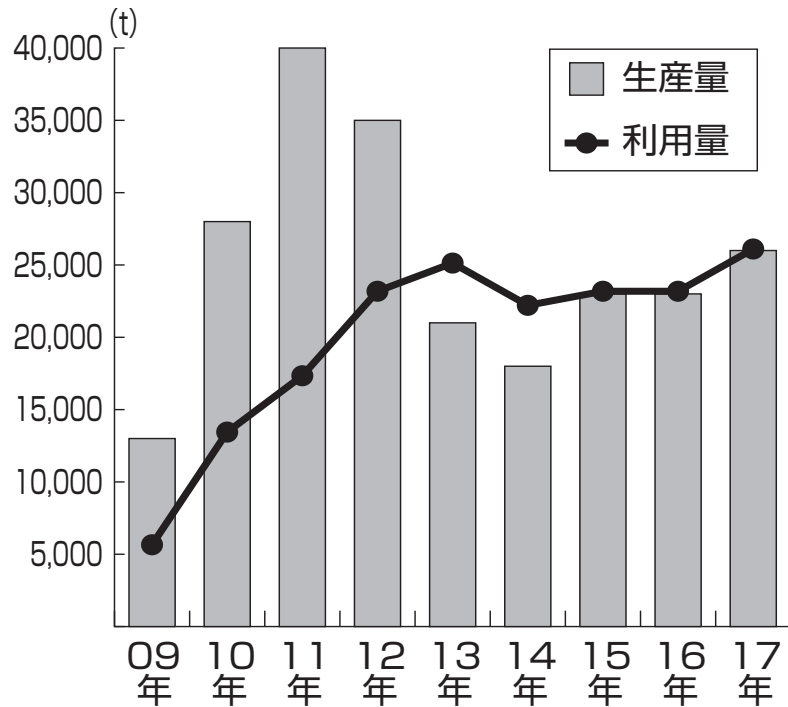
くもり

.....  
 である。米粉パンなどへの利用増や、グルテンフリーによる健康訴求という新しい市場が出てきたためと思われる。その一方で、生産者の飼料用米シフトが続き、米粉の原料米確保が一段

政府の肝いりで、新規需要米による米粉活用が09年度から始まって、ちょうど10年が経過した。15年からの3年間は2万3千と低位安定で推移してきたが、農水省は18年度の見通しを8千増の3万1千と見込んで

と厳しくなっている。このままでは需給ギャップは広がる一方。何らかの政策が必要になってきた。

米粉用米の生産量・利用量推移



※農林水産省調べ。利用量は需用者からの聞き取り  
 17年利用量は本紙推定